

レーザーキャナ

PA960はレーザーキャナを内蔵しており、すぐれた性能でほとんどの主要なバーコードラベルを読み取ります。トリガキーは本体の左右にあります。いずれか一方を押すとレーザーキャナが動きます。PA960はユーザがバーコードキャナをテストすることができるキャナコントロールパネルプログラムを内蔵しています。キャナコントロールパネルはコントロールパネルのScanner Settingから、あるいは[FUNC] + 7を押すことによって起動することができます。



電源

リチウムイオンバッテリーの充電

オプションのドッキングステーション(クレードル)はPA960の日常の使用に便利なアクセサリです。充電は3時間で終わります。あるいは、充電/RS232ケーブルまたは充電/USBケーブルを使用したバッテリーパックの充電は約3時間かかります。



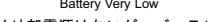
最初にメインバッテリーとバックアップバッテリーを充電

注意: まずPA960を使用する前に、空のバックアップバッテリーを16時間以上充電して下さい。

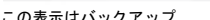
"Battery Low" アイコン: battery lowが表示された場合充電が必要です。言い換えると、外部電源がなく、バッテリーの充電が少ないか、極めて少なく、PA960を充電されることをお勧めします。



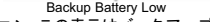
"Battery Very Low" アイコン: この表示はバッテリーの電圧が極めて低いことを示しています。使用をやめて直ぐにPA960を充電されることをお勧めします。



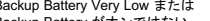
アイコン無し: この表示はPA960は外部電源はないが、バッテリーの状態の良いことを示しています。



"Backup Battery Low" アイコン: この表示はバックアップバッテリーの電圧が低く充電の必要があることを示しています。



"Backup Battery Very Low" アイコン: この表示はバックアップバッテリーの電圧が極めて低いことを示しています。使用をやめPA960を直ちに充電されることを強くお勧めします。



Backup Battery Very LowまたはBackup Batteryがオンではない。

無線LANカードのインストール

- PA960の電源を切ってください。
- スタイラスを外し、ネジを外すためにスタイラスのドライバを使用し、PCMCIAカバーを開けて下さい。
- 必要なら無線LANカードにアンテナを取り付けて下さい。(Ciscoのカードはアンテナが取り付けられています。)
- アンテナに引き抜きタグを付けて下さい。
- 無線LANカードをPCMCIAスロットに入れて下さい。



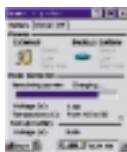
はじめにPA960をACアダプタ無しで、そしてバックアップバッテリーを完全に充電しないで使用するRAMメモリに保存されたデータが失われる可能性があります。

注意: バックアップバッテリーによってバックアップされるデータはメインバッテリーがインストールされていない場合8時間です。従って、バックアップバッテリーの問題によるデータ保護の問題を避けるためにPA960のバッテリーバックなしあるいはAC電源を接続しないで使用しないで下さい。バッテリー電圧が極めて低くなりPA960が自動的にシャットダウンした場合、そしてバッテリーがPA960に入れたままである場合、データは72時間保護されます。

電源ステータス表示

バッテリー状態のチェック:

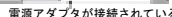
バッテリーメニューの項目はメインとバックアップバッテリーの状態を表示します。3種類のステータス表示があります。—"Good", "Low"と"Very Low"。太字は実際の状態を示します。例えば右図のバッテリーアイコンはメインとバックアップのバッテリーが"GOOD"であることを示しています。



"Low"または"Very Low"が表示された場合充電する必要があります。"Low"または"Very Low"が充電後も表示される場合、Unitechの技術サポートにお問い合わせ下さい。

4種類のアイコンが電源の状態を示すためにステータスバーに表示されます。

"Plug" アイコン: これが表示された場合、このアイコンはバッテリーが充電中であることを示します。PA960はDC 12V/2A電源アダプタが接続されているか、またはドッキングステーション(クレードル)に入れられています。



トラブル処理

画面がブランクまたはユニットの電源が入らない場合、16時間バッテリーを充電して下さい。バッテリーが完全に充電されていて電源が入らない場合、リセットホールにピンを差し込んでデバイスをリセットして下さい。

レーザー

Unitech PA960はDHHS/CDRH 21CFR Subchapter Jの要求とIEC825-1の要求を満たすために米国で認証されています。クラスIIとクラス2製品は危険であると考えられておりません。PA960は内部にレーザー可視ダイオード(VLD)を含んでおりその放射は上記の規制に対応するように最大の制限値を越えることはありません。キャナは通常の操作、ユーザのメンテナンスあるいは規定のサービス作業時に害を与えるレーザー光を人間に当てることは与えないように設計されています。

注意 - ここに書かれている以外のコントロールまたは調整あるいは手順の実行を行うことは危険なレーザー光を生じることになります。キャナを光学機器と使用すると目の危険を増やします。光学機器は双眼鏡、顕微鏡あるいは拡大鏡です。これはユーザが着用している眼鏡を含んでおりません。

PA960のDHHS/IECによって要求されるレーザーキャナモジュールのレーザー安全警告ラベルはユニットの背面にあります。

ECステートメント

R&TTE 1999/5/ECとEMC 89/336/EEC指示に関して準拠しております。

FCCステートメント

本品はFCC Part 15 Class B製品です。米国内においては、本製品は無線干渉を引き起こすことがありますので、ユーザは適当な処置を講ずる必要があるかもしれません。

unitech

PA960

クイックスタートガイド

www.unitech-japan.co.jp

unitech PA960とアクセサリ

箱を開けた後で、PA960と以下のアクセサリが入っていることをご確認ください。



その他のアクセサリは別途出荷されます。

- 開梱した箱は保存や修理のために発送する必要に備えて保存して下さい。
- 輸送による損傷をチェックして下さい。欠品または損傷があったら、お買い上げの代理店にご連絡下さい。

はじめに

PA960は頑丈、コンパクトそして軽量なパームサイズコンピュータです。Windows CE®オペレーティングシステムを採用し、そしてバーコードキャナを内蔵、タッチスクリーンキーパッド、IrDAインターフェースを内蔵し、さらに無線通信機能が可能となっています。カスタマイズや周辺機器の運用については標準のWindowsベースの環境を使用することができます。このPA960クイックスタートガイドはPA960を始めて使用する皆様に使い方をご案内いたします。



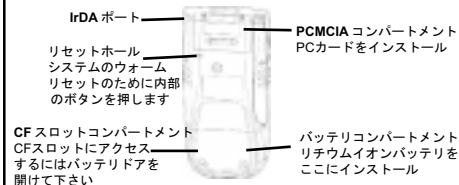
unitech PA960

Unitech PA960の概要

PA960の正面と左側



PA960背面



Unitech PA960を使用する最初のステップ

PA960の電源供給には三つの方法があります:

- 充電可能なリチウムイオンバッテリーパック
- RS232/充電ケーブル、USB/充電ケーブル
- ドッキングステーション(クレードル)

注意: 入力したデータは内蔵のバックアップバッテリーが十分に充電されるまでは保存されないことがあります。

PA960のセットアップ

④

Unitech PA960 はディスプレイに保護フィルムを貼っていることがあります。このフィルムは傷から画面を保護するためのものですが、読みやすさとイメージのコントラストをやや低下させます。ひとつの角から引くことにより保護フィルムをはがすことができます。

バッテリーパックのインストール

注意 - バッテリーパックの不適切なインストールはバッテリーコンポーネントのメタルクリップを曲げたり、壊したりすることがあります。バッテリーパックのインストールについては以下を注意して読み、手順に従ってください。

1. スタイラスのドライバを使用してバッテリーコンポーネントのドア(本体の後面後ろ側にあります)を外します。



2. バッテリーパックを完全にに取り付け、バッテリーパックの形がバッテリーコンポーネントの形に合っていることを確認して下さい。バッテリーパックのラベル側を皆様の方に向け、そしてバッテリーパックのストラップを本体の下部に向けます



3. バッテリーパックを置いて、スタイラスのドライバでバッテリーコンポーネントのドアを取り付けます。



PA960に電源を供給

⑤

RS232/充電ケーブルあるいはUSB/充電ケーブルをPA960に接続し、そしてACアダプタをケーブルのDCジャックとコンセントに接続して下さい。



あるいは PA960 をドッキングステーションに置きます(最初にドッキングステーションに電源を接続して下さい)。

はじめにメインとバックアップバッテリーを充電する空のバックアップバッテリーを完全に充電するのに16時間かかります。最初の充電は充電が確実に行われるように最低16時間行って下さい。

注意: PA960をACアダプタ無し、そしてバックアップバッテリーを完全に充電せずに初めて使った場合、RAMメモリに入っているデータを失う可能性があります。初めてPA960を使用する前に、空のリチウムバックアップバッテリーを完全に充電するために本ユニットを16時間充電して下さい。



リチウムイオンバッテリーはリサイクルされます。ゴミ箱に捨てないで下さい



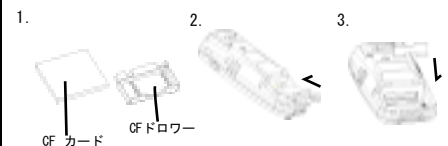
最初の操作

注意: ユニットの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電して下さい。

PA960に CF カードを挿入

⑥

PA960のパッケージから CF ドロワーを出し、CFカードをCFドロワーに入れます。そしてCFドロワーをPA960に入れ、そしてCFスロットドアを付けます。PA960スタイラスのドライバでPA960にバッテリードアを取り付けます。



ON/OFFキーを押す

Unitech PA960のウェルカムスクリーンが現れます。Windows CEのスクリーンがその後すぐに短く現れます。



スクリーンの明暗調整

スクリーンの明るさを上げたり、下げたりするには [FUNC] キーとカーソルキーを押して下さい。

PA960のキャリブレーション

このスクリーンは最初に電源が入れたとき、あるいはシステムがリセットされたときに自動的に現れます。このスクリーンはホットキー [FUNC] と [ESC] キーが押されたときにもアクセスすることができます。



PA960はスクリーンの場所を次々とタップすることによってユニットをキャリブレーションするように促します。やさしく、そして確実にタップして下さい。一連のタップが終わったら、確認として [ENT] を押すか、キャンセルするために [ESC] キーを押して下さい。

時差、日付と時刻の設定

⑦

PA960のキャリブレーションをした後で、日付/時刻プロパティのダイアログボックスが現れます。日付と時刻をセットするために以下のステップを行って下さい。



最初に時差を設定

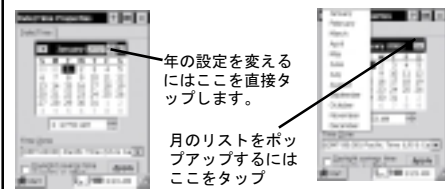
時差を設定するには以下のステップを行って下さい

- 1) 都市のリストを見るために場所の矢印をタップして下さい。
- 2) 場所(またはリストされた近い場所)を選択して下さい。
- 3) 夏時間の選択、必要ならボックスをチェック
- 4) 適用ボタンをタップ



年と月の設定

月をスクロールするには左または右の矢印をタップします。



年の設定を変えるにはここを直接タップします。

月のリストをポップアップするにはここをタップ

あるいは、年または月の設定を変更するには、年または月の場所を直接タップします。

日付/時刻プロパティ設定の終了

終了するには、右上の OK または X (キャンセル) をタップして下さい。

フラッシュメモリ

⑧

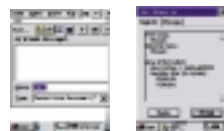
フラッシュメモリはプログラムとデータファイルをGMB程度保存することができます。書き込み可能です。この特徴の利点は、フラッシュメモリに保存されたファイルとプログラムはPA960の電源の状態に影響しないということです。



フラッシュメモリにアクセスするには、デスクトップの"マイコンピュータ"をタップし、Flash Storageを選択して下さい。フラッシュメモリに保存されているプログラムとデータファイルが表示されます。



Flash Storageに保存するには、保存するファイル、保存を選択し、他の保存メディアと同様に FlashStorageを選択して下さい。



キーパッドとスキャナの使用

キーパッド

PA960キーパッドはカーソルキー、0-9、Alphaキー、ON/OFF、Function、Escape、Backspace、そしてEnterキーを含む19キーがあります。セクション9の図をご覧ください。

Alpha キー

⑩

PA960のブート時、標準の状態は数字モードです。Alphaモードに切り換えたときに、標準モードは小文字(CAPSオフ)です

Alpha モード 英字モードにするにはAlphaを押して下さい。標準ではCAPSはオフです。

CAPS CAPSを切り換えるには Alphaキーを二回押して下さい。

キー入力 選択した文字を入力するにはカーソル上を押して下さい。

便利なホットキー

PA960は特定のスクリーン設定機能やプログラムを起動するために8つのホットキーがあります。これらのホットキーはタッチスクリーンのキャリブレーション、バックライトの切り換え、そしてメニュー形式の操作ができない場合のスクリーンコントラスト調整に便利です。以下はホットキーのリストです。これらを使用するには、[FUNC]キーを押したまま、対応する二つ目のキーを押して下さい。

- [FUNC] + [ESC] スタイラスのプロパティとPA960のタッチスクリーンのキャリブレーションを行います。
- [FUNC] + [] スクリーンを暗くします。
- [FUNC] + [] スクリーンを明るくします。
- [FUNC] + [TAB*] スクリーンとLCDのバックライトを切り換えます。
- [FUNC] + [6] タスクマネージャ
- [FUNC] + [7] スキャナコントロールパネル
- [FUNC] + [8] パワーマネジメント
- [FUNC] + [9] システム情報
- [FUNC] + [0] スペース
- [FUNC] + [Cursor] ディスプレィのバックライトを切り換えるには Function キーとカーソルの上キーを使用します。
- [FUNC] + [Cursor] キーパッドのLEDバックライトを切り換えるには Functionキーとカーソルの下キーを使用します。



⑨

[ON/OFF] 本ユニットがオフの場合、On/OFFキーを押すと本ユニットの電源が入ります。あるいは、本ユニットがオンの場合、このキーは本ユニットをオフにするために約2秒間押し続けなければなりません。

[ESC] EscapeキーはタッチスクリーンのキャンセルボタンまたはXボタンをタップするのと同じ機能を実行します。

[Back space] Backspace キーは直前に入力した文字を消すために使用します。

[FUNC] Functionキーは特殊なキーの機能を実行するために使用します。

[TAB] Tabキーはプログラミングやワープロのアプリケーションであらかじめ決めた位置にカーソルを移動するために使用します。

[ENT] Enterキーは処理を開始するため、あるいはユーザの選択を確認するために使用されます。このカーソルキーはアプリケーション間を移動するために使用します。

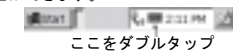
[Alpha] このAlphaキーは数字と英字モードを切り換えるために使用します。このAlphaキーは英字モードでCAPS(大小文字)を切り換えるためにも使用されます。

ソフトウェアキーパッド (Windows CEキーボード) ⑪

PA960のキーパッドは数字の入力が主なので、Windows CE ソフトウェアは他の文字を入力するためのタッチスクリーンキーボードを提供しています。Windowsベースのキーボードは標準のPCキーボードのレイアウトをまねています。

Windows CE キーボードを開く:

Windows CE キーボードはタスクバーのキーボードアイコンをタップすることによって開くことができます。(図を参照)



ここをダブルタップ

文字のキー入力:

キーボードアイコンをタップした後で、Windows CE キーボードがポップアップします。文字入力は標準のPCと同じです。入力したい文字に相当するスクリーン上のボタンを単にタップして下さい。

国際文字サポート:

標準の英字キーボードからヨーロッパキーボードに切り換えるには [au] ボタンをタップして下さい。



タイトル

キーボードの移動:

タイトルバーを指すのにスタイラスを使用します。バーは入力パネルを表示し、スクリーンから持ち上げること無しにスタイラスを移動します。

キーボードを閉じる:

Windows CE キーボードを閉じるためにキーボードアイコンをタップして下さい。

左側トリガ

レーザースキャナの使用

注意: 読み込みソフトウェアはスキャナを使用するために使用可能でなければなりません。これはユーザのアプリケーションもしくはScanner Setting.exeなどのあらかじめ用意されたユーティリティです。



右側トリガ